令和7年11月4日
岩　保　育　園

色とりどりの落ち葉や様々な形のどんぐりなど、秋の自然は子どもたちにとって宝の山です。

園庭のモチノキも実をつけ始めました。昨年のことを思い出し「赤色だったのに、黄緑色になってる！」と実の色の違いに気が付いた子どもたち。これから赤くなっていくことを伝えると、毎日モチノキの下に行き、赤くなっていないか観察しています。また、近くを飛ぶ鳥を見つけると、「実を食べに来たのかな？」と鳥に聞こえないようにヒソヒソと子ども同士で話す姿に微笑ましく思いました。観察して考えることが大好きなきりん組さんです。今月は秋の自然物に触れられる機会を多くもち、子どもたちと秋を堪能したいと思います。

朝晩と日中の気温差が激しい時期となってきます。着替えたり薄手の上着で調節したりし、一人ひとりが過ごしやすいよう配慮していき、健康に過ごせるよう見守っていきます。体調の変化がみられた時はお知らせください。

やってみよう！

オータムフェスティバルがあったこともあり、運動遊びをする機会が多くありました。最初のころは取り組む前から「無理」や「できない」と言う子が多いきりん組さんでしたが、『くちぐせえほん　きみのこころをつよくする』という絵本を読んでから、初めてやることや苦手なことに対して「やってみよう」や「もういっかい」とポジティブに考え取り組むようになりました。そうしたなかで、チャレンジする楽しさにも気付き、ネガティブな口癖が減っていきました。オータムフェスティバルを通し一皮むけた子どもたち。今後もチャレンジする楽しさを味わえるよう、子どもたちの気持ちに寄り添いながら見守っていきます。保護者の皆様、お忙しい中オータムフェスティバルへのご参加、そして応援をありがとうございました。

今日は〇〇をつくるぞー！

廃材遊びが大好きなきりん組さんは、毎回こだわりのつまった作品を時間いっぱい作っています。素材選びから作っている最中も子ども同士や保育士と相談しながら理想の物を形にしています。最近では丈夫に作れるようにセロハンテープの貼り方を工夫したり、紙やプラ容器など素材の性質にも気づきそれに合う材料を探したりと考えて作ることも楽しんでいます。持ち帰った際には何を作ったのか、どこをこだわったのか聞いてみてください。